# 貸 借 対 照 表

事業者名　吉田ガス株式会社

2024年12月31日現在

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---|---|---|---|
| | 千円 | | 千円 |
| 固定資産 | 2,149,464 | 固定負債 | 159,026 |
| 有形固定資産 | 2,017,003 | 退職給付引当金 | 156,826 |
| 供給設備 | 1,534,512 | その他固定負債 | 2,200 |
| 業務設備 | 297,223 | 流動負債 | 657,223 |
| 附帯事業設備 | 172,435 | 買掛金 | 190,507 |
| 建設仮勘定 | 12,832 | 未払金 | 126,867 |
| 無形固定資産 | 61,799 | 未払費用 | 155,132 |
| のれん | 11,484 | 未払法人税等 | 74,469 |
| 借地権 | 1,450 | 預り金 | 10,826 |
| その他無形固定資産 | 48,864 | 前受金 | 2,552 |
| 投資その他の資産 | 70,661 | 関係会社短期債務 | 11,032 |
| 投資有価証券 | 3,386 | 賞与引当金 | 10,656 |
| 出資金 | 455 | 附帯事業流動負債 | 75,179 |
| 長期前払費用 | 3,555 | | |
| 繰延税金資産 | 60,566 | | |
| その他投資 | 2,728 | 負債合計 | 816,250 |
| 貸倒引当金 | △ 30 | 純資産の部 | |
| 流動資産 | 2,657,298 | 株主資本 | 3,988,336 |
| 現金及び預金 | 202,696 | 資本金 | 80,000 |
| 売掛金 | 243,834 | 利益剰余金 | 3,908,336 |
| 未収入金 | 40,573 | 利益準備金 | 20,000 |
| 貯蔵品 | 21,483 | その他利益剰余金 | 3,888,336 |
| 前払費用 | 1,401 | 別途積立金 | 3,596,000 |
| 関係会社短期貸付金 | 1,911,475 | 繰越利益剰余金 | 292,336 |
| 関係会社短期債権 | 16,652 | 評価・換算差額等 | 2,176 |
| その他流動資産 | 56,657 | その他有価証券評価差額金 | 2,176 |
| 附帯事業流動資産 | 163,235 | | |
| 貸倒引当金 | △ 711 | | |
| | | 純資産合計 | 3,990,512 |
| 資産合計 | 4,806,763 | 負債純資産合計 | 4,806,763 |

# 個　別　注　記　表

吉田ガス株式会社

2024年　1月　1日から
2024年 12月 31日まで

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
(1) 資産の評価基準及び評価方法
ｲ) 有価証券
その他有価証券で時価のあるものの評価は、決算日の市場価格等に基づく時価法によっております。（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

ﾛ) たな卸資産
移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法
ｲ) 有形固定資産
定率法によっております。
ただし、1998年４月１日以降取得した建物(建物附属設備を除く)、2016年４月１日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

主な耐用年数は次のとおりであります。
供給設備　　２～13年

ﾛ) 無形固定資産
定額法によっております。
なお、自社利用のソフトウエアについては、社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準
ｲ) 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

ﾛ) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき算出しております。退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

ﾊ) 賞与引当金
従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 税効果会計に関する注記
繰延税金資産の発生の主な要因は、減価償却限度超過累計額、退職給付引当金の否認等であり、繰延税金負債の主な発生要因は、その他有価証券評価差額金であります。

3. 当期純損益金額
当期純利益　　262,723 千円

4. その他の注記
記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。